



雪あかりの動物園でのシロフクロウ



豚コレラの発生に思うこと

雪あかりの動物園も無事に終わりホッと一息ですが、前日までの大雪と最強寒波の襲来とで、体力的には結構へこたれました。雪あかりの動物園は、団体での来園者が少ないこともあり、どこか慌ただしさのない、静寂に包まれた雰囲気です。厳冬の中での動物たちの姿に、改めて神々しさのようなものを感じました。

さて話は変わって、今年の干支はイノシシです。前回も書きましたが、旭山動物園では、かば館でイボイノシシ、こども牧場でブタが暮らしています。関心が高くなる年ですから様々な情報発信を！と考えていましたが、そうもいつていられなくなりそうです。

昨年、26年ぶりに岐阜県で豚コレラが発生し、現在も終息の見通しは全く立たない状況です。しかも家畜のブタだけではなく、野生のニホンイノシシでも感染が確認されています。拡大が懸念されています。日本では今まで奇跡的に、豚

コレラをはじめ狂犬病も口蹄疫も在来の野生動物種には感染拡大していません（高病原性鳥インフルエンザは、季節性があることなど状況が異なります）。身近な野生動物の中で1年中病原体が維持されることになってしまうと、今までの防疫体制を抜本的に見直すなければなりません。

北海道に野生のイノシシはいないから、それほど心配ないのでは？と思うかもしれませんが、そうともいえません。豚コレラウイルスの感染は、ヒトのインフルエンザと同じように、様々なルートが考えられます。

そもそもなぜ豚コレラが？については、海外の観光客が持ち込んだ、ウイルスに汚染された豚肉等の食材を、何らかの方法でニホンイノシシが食べたことが、原因ではないかと強く疑われています。旭山動物園にも多くの観光客が訪れます。豚コレラはイノシシ科の動物以外に病原性はありませんが、イノシシやブタは「怖い動物」といった、精神的な壁ができないか心配です。



旭山ピックアップ

one zoo アプリが配信されています

「one zoo」はKDDI、博報堂と全国の動物園が「私たちとどうぶつたちを、ひとつの未来へ」をコンセプトに共同開発したスマートフォンアプリです。第1弾として昨年9/20から、旭山動物園が動画提供を開始。園内では、音声ガイドやデジタルマップ、スタンプラリーなどが利用でき、園外では、動物の動画を視聴できます。随時、動画を提供していくので、応援よろしくお願いします。



開園日・時間

- 冬期開園 = 4/7(日)まで
10:30~15:30
(入園は15:00まで)
- 休園 = 4/8(月)~26(金)
- 夏期開園 = 4/27(土)から

最新ニュースは旭山動物園で！
【詳細】



旭山動物園 (東旭川町倉沼 番36・1104)

旭山動物園をもっと楽しむ

ペンギンの散歩

3月は11:00からの1回のみです。

ワンポイントガイド

内飼育員が、動物たちのエピソードなどを紹介
日毎週日曜日、祝日
13:30から

動物園パスポート販売

平成31(2019)年度のパスポート(1,020円)は、4/1(月)から動物園各門などで販売します。有効期間は、最初の入園日から1年間です。